

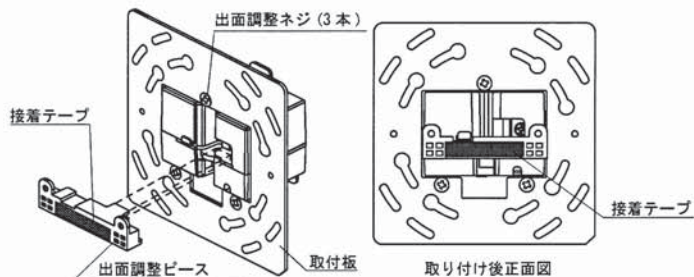
注意 大形四角アウトレットボックスが壁面にしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていない場合、防火戸の開閉に支障をきたす場合があります。

注意 取付板を大形四角アウトレットボックスにしっかりと固定してください。しっかりと固定されていない場合、防火戸の開閉に支障をきたす場合があります。

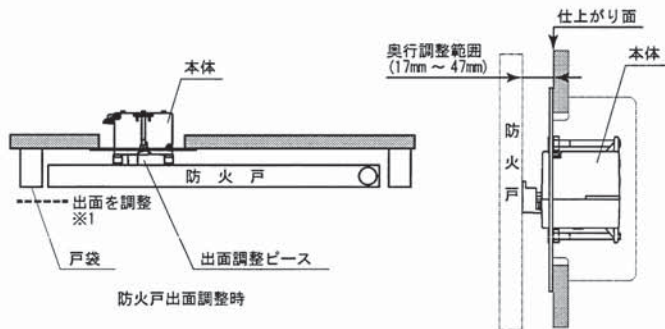
[4] 扉保持フック取付方法

保持力は出荷時から変更せずに出面調整を行ってください。

- (1) 出面調整ピースを下図のように本体に平行に取り付けてください。
(出荷時と同じ状態に取り付けてください。)



- (2) 出面調整ピースを取付けた状態で、防火戸の出面を調整してください。防火戸表面と戸袋表面の位置が合うように調整してください。※1
(注) 出荷時は出面調整範囲の最小値です。
・3カ所ある出面調整ネジを交互に回し、出面調整ピースに防火戸を押し付けた状態で防火戸と本体が平行になるように調整してください。
・壁と平行に本体を取り付けた場合、奥行調整範囲は17mm～47mmですが、角度がある場合はこの範囲が小さくなります。



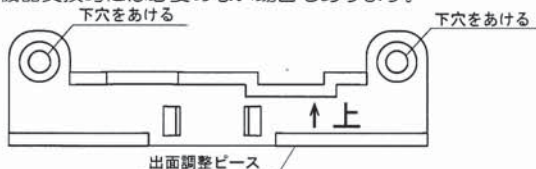
- (3) 出面調整ピースを本体と水平になるように取付けて、表面の接着テープのはく離紙をはがし、防火戸を自動閉鎖装置に押しつけ、防火戸に出面調整ピースを貼り付けてください。

注意 出面調整ネジを出荷時の状態より左に回さないでください。本体が脱落し、防火戸を保持できません。

- (4) 出面調整ピースの丸穴中央2カ所にマーキングをしてください。防火戸に扉保持フック取付用の下穴を下表を目安にあけてください。(図参照)

板厚 (mm)	1.0	1.2	1.6	2.0	2.3	注) 左記値は目安となります。
下穴径 (mm)	φ3.1	φ3.2	φ3.3	φ3.4	φ3.5	

※既設機器交換時には必要のない場合もあります。



- (4) 出面調整ピースを防火戸からはがしてください。

[5] 扉保持フックの取付

扉保持フックをM4×20 タッピングネジ (付属品) にて防火戸に取り付けます。SLDJ004 を新規に取付ける場合は扉保持フック取付穴の「上側」を使用してください。リニューアル等で、SLDJ004 以前の当社製品からの交換で、既存ネジ穴を使用する場合は取付穴の「下側」を使用してください。



扉保持フックが防火戸へ取り付けいた状態で、防火戸を戸袋に収め、扉の出面を確認・再調整してください。

[6] 化粧プレートの取付

M4×4 ネジ (付属品) にて化粧プレートを取付板に取り付けてください。化粧プレートの取り付けには上下の方向性があります。中央穴の凸部が下側になるよう、取り付けてください。

6. 保持力の調整方法

警告 保持力は適切な大きさに調整してください。小さい場合、正常作動時以外に扉が閉じ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

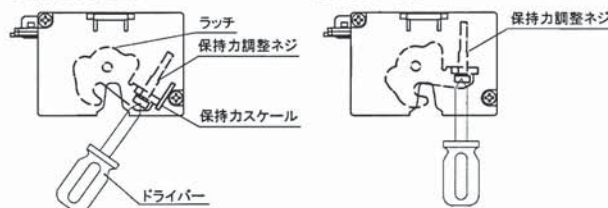
警告 保持力調整ネジを目一杯絞め込まないでください。正常に作動しなくなることがあります。

保持力は出荷時、約100Nに調整してありますが、調整する必要がある場合は次の順序で行ってください。保持力は100N～700Nで調整が可能です。

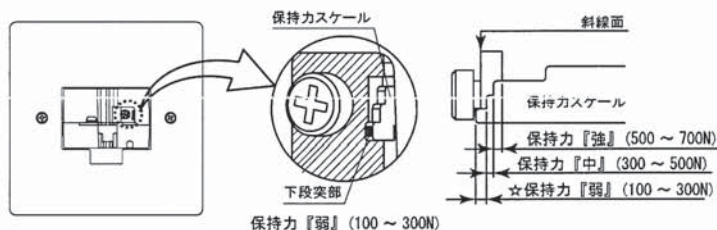
- (1) +ドライバーで保持力調整ネジを回転させ、調整してください。保持力の調整は保持状態、非保持状態、どちらの状態でも可能です。
(注) 保持状態で調整した場合は、通電により非保持状態へ戻してください。

【非保持状態】

【保持状態】



- (2) 保持力調整ネジを左に回すと保持力は小さくなり、右に回すと保持力は大きくなります。保持力調整ネジを回すと保持カスケールが手前に出てきます。保持力の目安として、保持カスケールの下段突部のみが斜線面より出ている場合は保持力が弱、中段部が出ている場合は保持力が中、上段部が出ている場合は保持力が強となります。



☆手動で防火戸を開閉する場合、300N以下で設定してください。

出荷時は約100Nで、右に1回転させると約100N上昇し、保持力は約200Nとなります。

- (注1) 保持状態の防火戸を引っ張り、簡単に外れない程度に調整してください。
(注2) 保持状態の防火戸が軽い衝撃などで外れないように調整してください。
(注3) 保持力の調整には電動ドライバーは使用しないでください。

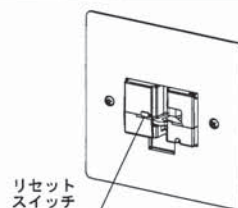
7. 動作・復旧方法

【動作】

- (1) 防火戸を戸袋に収め、扉保持フックを本体に押しつけて、防火戸を保持してください。
(2) 通電により防火戸が閉鎖することを確認してください。

【復旧】

- (1) 接続されている連動制御器の復旧操作を行ってください。復旧方法は、設置されている制御器の取扱説明書をご参照ください。
(2) 本体のリセットスイッチを押した後、防火戸を保持してください。



警告 本体のリセットスイッチ操作を確実に行ってください。リセットスイッチが飛び出ていると本体に防火戸が保持されず、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告 防火戸保持後、再度、確実に保持しているかの確認をしてください。確実に保持していない場合、正常作動時以外に扉が閉じ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告 防火戸の近くに物を置かないでください。火災時に所定の機能を発揮できません。